

新米の季節

秋真っ盛り。この季節、やっぱり目に付くのが稲刈り。道々に“頭を垂れた稲穂”や、既に刈り終わって掛け干ししてある稲を見て「秋だなあ」とつくづく感じます。ところで、よく新人のことを新米と呼びますよね。例えば新米教師とか新米デカとか・・・「なぜそう言うのかなあ？」と思い、さっそく調べて見ました。これにも諸説あるようです。あなたはどれが本当だと思いますか。



「新前」説・・・「新米」はもともと「新前」だったのが、音の変化とともに「米」という字が当てられるようになったようです。もともとの「前」という字には、「それらしいもの、それらしいこと」という意味があります。例えば、「男前」(男らしいこと)、「腕前」(腕=技術・技能というもの)、「江戸前」(江戸風のもの)などと使われ、「新前」は「新しいもの」という意味になるわけです。

「純白お米」説・・・不慣れな新人は何色にも染まっていない、真っ白なお米のような状態に例えて新米と呼んだ。

「江戸にお米が集まった」説・・・江戸に職を求めた新人が集まるようになった頃、米も多く集まるようになり、庶民的な食べ物になったことから新人の人と米をかけて新米と呼んだ。

いずれにしても秋本番、“食欲の秋”です。おいしいおいしい“新米”をたくさん食べて、睡眠も十分とって、心と体の充実を図ってほしいと思います。ただし、食べすぎて“授業中も眠たい”とか、“重量オーバーです”なんてことがないように・・・

折り返し

早速問題です。次の英文を訳してください。

I have another half a year to achieve my goal. OK, let's do it!
ちょっと難しいですよ。答えは(目標達成するのに、まだ半年ある。やってやろうじゃないか!)です。なぜ、この英文を提示したのか。実は1年間の授業日数は約240日あまりです。その前半が終わり、今がちょうど令和3年度の折り返しなのです。今日から中間テストが始まりましたが、2学期の中間であり、1年間の中間でもあるわけです。言い換えれば、今日から後半の始まりということになります。年度の始まりである4月と2学期の始まりである9月にそれぞれ目標を立て、これまで頑張ってきたと思います。その取組が十分だった人、まだまだ不十分だった人、それぞれだと思います。いずれにしても今年度はあと半分あります。“let's do it!=やってやろうじゃないか!!”気分を新たに、ここからまた目標達成に向けてしっかり頑張るってほしいと思います。まずは今日から3日間の中間テスト。ここで後半戦のスタートダッシュがきれるよう、最後の最後まであきらめず問題と格闘し、結果を残してほしいと思います。頑張れ加中生!!

